市民と市長のタウンミーティング要旨

日 時：令和6年7月5日（金） 10時30分～12時00分

場 所：コミュニティセンター下福田会館集会室

テ ー マ：新総合計画及び市政全般

参加人数：19人

○参加者からの意見等

【意見】

- ・ 新幹線の線路脇に新築戸建ができたことに伴い2つ公園（根下南青空公園、三軒庭希望公園）ができたが、ただの草むらで遊具も何もない。
- ・ 公園付近は若い方が多く公園整備の強い要望が多数来ており、市のみどり公園課にも伝えてあるが変化がない。
- ・ 今後の整備方針についてお聴きしたい。

【市長】

- ・ 以前は、シリウスなど大きな公共施設に力を入れていたが、私は公園や道路といった身近な公共施設に力を入れている。
- ・ 今、事業仕分けを進めており、無駄を省き必要なところに予算を割けるように進めているので、帰りに現地視察し来年度以降の整備に向けて検討する。

【意見】

- ・ コミュニティセンター下福田会館の大規模改修が予定されており、管理運営委員会から要望を出している。
- ・ 市長は市民の声、現場の声を聴くとおっしゃっているので、私たちの要望もしっかりと受け止めていただきたい。

【市長】

- ・ コミュニティセンター20館は、厚木基地に関係する国からの交付金で建てられた施設である。
- ・ 厚木基地の空母艦載機が山口県の岩国基地に移駐して以前と比較して静かになっているが、騒音がゼロになったわけではない。
- ・ 交付金は、固定資産税の代替的なものとされているが、固定資産税相当額に見合っていないとなく、また、航空法に基づく建物の高さ制限、14階建ての建物が建てられないことによる街づくりへの支障や経済的損失も生じている。
- ・ こうした課題について、国に訴えており、今後もしっかりと交付金を確保することにより、コミュニティセンターなどの公共施設を維持管理していく。

【意見】

- ・ 千本桜地区では引地川沿いの桜並木周辺で年に数回イベントがあり、近隣の店舗が露店を出したり、地元の農家さんの協力で地場野菜販売などを行っている。

- ・各店舗や個人で対応しているため、用意できる食べ物の量も限界があり、お昼前に完売してしまうので、地域全体で対応するようになれないか。
- ・先日の「アド街ック天国」でも取り上げられるくらい魅力ある場所なので、夜桜のライトアップ、川に落ちないためのバリケード、その時期だけでもよいので周辺にテーブルや椅子を置くなど、大和市で対応して欲しい。

【市長】

- ・大和市に人が集まるイベントや催事をやっていきたいと考えており、キーワードは人と人がつながる居場所づくりである。
- ・市内外から多くの人が集まれば、周辺の店舗にお金落ちて経済が回り、市の税収も上がるので、地域と行政が一緒になって千本桜を盛り上げていきたいが、ライトアップに関しては、近隣のお住まいのかたに迷惑をかけないようにする配慮が必要なので、地元自治会や近隣にお住まいの皆さんとの話し合いが重要となる。
- ・ご意見を関係する所管課に情報提供し、対応の可否について検討する。
- ・市南部地域は新たなお祭りを企画しているところで、地域の伝統行事などを盛り込んでいければと考えている。
- ・外出の機会を創出することで、人と人のつながりを生み出していくために、地域のイベントや催事を市としてもバックアップしていく。
- ・「アド街ック天国」放送後、取り上げられたお店は行列になるなど、テレビの影響力の大きさを改めて感じており、市の魅力を発信して人を呼び込み、若い世代の定住者を増やすことができるよう取り組んでいく。

【意見】

- ・コミュニティバスについて、とても便利でありがたく思っている。
- ・もう少し便数が多く、特に昼間の時間帯を増便してもらいたい。
- ・のろっとの運賃100円は安すぎるので、倍の200円でもいいので、収益を上げることで増便につなげて欲しい。

【市長】

- ・コミュニティバスについては、市民の皆さんから様々なご意見をいただき、今年のはのろっとが20年、やまとんGOが10年という節目を迎えたこともあり、見直しを図っているところである。
- ・運賃については、年間パスのようなものが出来ないか検討している。
- ・バス停のネーミングライツ（命名権）や広告掲載を募集し、掲載料をコミュニティバスの経費に充てることで、利便性向上につなげていく。

【意見】

- ・市内で整体サロンを運営している。
- ・昨年度、府中市で開催された、地域課題解決プラットフォーム「みんぷら」に参加した。
- ・地域課題の解決をボランティアが担う場合、資金面で行き詰まることが多く、

それを克服するために、ビジネスとして収益を得ることで継続的に地域貢献をしていくことを学んできた。

- ・ 地域課題の解決に向け、大和市でも府中市のような取組を行なっていただくことを提案する。
- ・ 府中市では「みんプラ」で学んだ事業者同士の横のつながりができているが、私が同じ志を持ってやったとしても、現在の大和市では広がりが生まれないので、地域全体にそういった同じ考え方の人を増やして欲しい。
- ・ 大和市に大企業が来れば税収は上がるが、個人事業主がもっと活躍できるようになることも税収につながるので、ぜひ検討いただきたい。

【市長】

- ・ 府中市の「みんプラ」について、地域活動や産業など関係する所管課に情報提供し、視察や調査研究することで導入の可否を検討させていただく。
- ・ 地域活動については、他市の成功事例を積極的に学び、よりよい形を見出していきたい。
- ・ 自治会の皆さんには、リサイクルステーションなどをはじめ、様々な形で行政に協力いただいております、市として支えていきたいと考えているが、加入率が減少し続けている。
- ・ 自治会に入ることのメリット、災害時に頼りになるものであることを、市が積極的に発信していく。

【意見】

- ・ 令和5年11月1日発行の「やまと市議会だより」第320号の表紙には「前市長時の決算を認めず」という記事があり、これは大変なことだと思い、色々調べてみて、認定されなくても決算の効力に影響がないことがわかったが、このことを知らないことを市民は多いと思う。
- ・ 不認定でも決算に影響がないことを広報等で説明するべきだったのではないかな。

【市長】

- ・ 不認定の主な理由は「令和4年度一般会計予算に対する附帯決議を軽視したこと」で、附帯決議の内容は「市の顧問弁護士の選任は、市長個人の訴訟との関係で、市民等から疑念をもたれることのないよう、慎重に選任されることを求める。」というものであった。
- ・ 市議会から、市の顧問弁護士が前市長の裁判の代理人を務めていたことは、通常ふさわしくなく、附帯決議を軽視して顧問弁護士との契約を継続したことに指摘を受けたので、当時の顧問弁護士とは、令和5年度末までに顧問弁護士委託契約を終了することで了承を得たことを令和5年12月議会に報告している。
- ・ 市民が不安に思うような事柄について、今後は広報等でしっかりと説明していくようにする。

【意見】

- ・ 看護師の個人事業主としてフットケア事業を営んでいる。
- ・ 大和市は「健康都市やまと」ということで様々な健康増進事業を行っているが、足の健康にも着目してもらいたい。
- ・ 人生100年と言われる中で、足の寿命は50年と言われており、何らかの足のトラブルを抱えている方は多い。
- ・ 立てなくても、足を床に付けて踏ん張ることができるかで人生が変わると私は思っている。
- ・ 足の健康意識を高めるため、0歳からの「足育」を啓発しているが、まだまだ関心は薄いので、大和市としても足の健康を推進してもらいたい。

【市長】

- ・ 母が変形性股関節症なので、足の健康の大切さはよくわかる。
- ・ 私は病気にならないように取り組む予防医療に力を入れることで、治療医療で掛かる予算を圧縮していきたい。
- ・ 予防医療のキーワードは運動と考えており、運動することによってお腹が空き、食事を美味しく食べられ、心地よい疲労感から質のよい睡眠がとれるようになる。
- ・ 運動やスポーツは、身体を動かすことでフレイル予防につながり、人との交流が生まれ孤独・孤立を防ぐことができる。
- ・ スポーツのよいところは、子どもから高齢の方まで、世代を超えて一緒に出来ることである。
- ・ ご意見いただいたフットケアについては、関係する所管課に情報提供し、健康づくりの参考とさせていただく。

【意見】

- ・ 未就学児2人の子育て中で、同じ子育て世代の支援活動も行っている。
- ・ 待機児童ゼロの裏で保留児童は多く、保育所の空きがないため求職活動を休止している場合も保留児童に含まれる。
- ・ また、保育士の場合、大和市内の保育所で働いていないから加点をもらえないという問題もある。
- ・ 新総合計画の説明の中で高齢化が進むという話もあったので、若い世代を増やしていくことは財政面でも重要と思う。
- ・ 子育てしやすいまちについて、市長の考えをお聴きしたい。

【市長】

- ・ 子ども子育ては非常に重要であり、さらに力を入れていきたい。
- ・ 前市長は待機児童ゼロに拘っていたが、私は実態に目を向けていくべきと考えている。
- ・ ご指摘いただいた問題点については、関係する所管課と情報を共有し、大和市に若い世代が定住してもらうためにも、対応の可否について検討する。
- ・ 子育て支援については、先進的な事例や成功事例を学び、保護者の皆さんに

子育てしやすいと思っていただけるよう取り組んでいく。

- ・ 「市長への手紙」はすべて目を通してあるので、子育て支援に関する提案や要望があったら、ぜひ「市長への手紙」を出していただきたい。

【意見】

- ・ 民生委員をやっている中で、大和市は認知症、独居、引きこもりなど福祉に関する相談がとても充実しているが、対応ができず困っているのが道路に関することである。
- ・ 市の道路管理課に相談しても具体的な対応時期は示されず、私道に関しては一切対応してもらえない。
- ・ 私道でも大きなごみ収集車は出入りするので路面が削られ、水溜まりや陥没が多くある。
- ・ 高座渋谷は砂利敷きの私道や袋小路も多く災害時は心配である。

【市長】

- ・ 私道を市道に移管するためには、関係者全員の同意が必要で、市道に接続する場合は3 / 4、袋小路は1 / 2の補助を出しているが、移管で問題になるのが空き家で、ご本人と連絡が取れない、相続者と連絡が取れないことから、全員の同意が得られないことで実現しないことがある。
- ・ 空き家は災害対応の観点からも対応する必要があり、地域のために市が動くことはやっていこうというのが私のスタンスなので、空き家問題にもしっかり対応していく。
- ・ 私道の砂利敷きなど、市が出来る範囲の対応については、小まめに対応するよう私から所管課に言っておく。

【意見】

- ・ この辺りの公園の草刈りは8割方自治会で行っており、草刈り機の電源として発電機を持ち込んでいるが、発電機は熱を持つので危険である。
- ・ 充電式の機材もあるので、公園の中にある照明用の電気を使わせていただきたい。電源は自治会長が鍵を預かる形で管理し、電気の使用は公園管理用に限定する。

【市長】

- ・ 自治会で公園の管理をいただき感謝申し上げる。
- ・ ご要望について、関係する所管課に情報提供し、対応の可否について検討させていただく。

【意見】

- ・ 引地川の中州には生態系があり、子ども教育にも役立っており、千本桜から下流を管理している神奈川県に中州の保全を要望している。
- ・ 防災や治水の観点から中州を撤去することを望む声があることも承知しているが、専門家の意見も取り入れて、生態系保全と防災対策を両立できるよう

市から神奈川県に要望して欲しい。

【市長】

- ・ 生態系保全と防災対策を両立させた管理は賛成である。
- ・ 手付かずの自然がよいとされることもあるが、人間が住む地域の自然はしっかりと管理が必要と考えている。
- ・ 人と自然の調和が大切であることを神奈川県に要望していく。

【意見】

- ・ 綾瀬市は、指定された中学校に希望する部活動がない場合、希望する部活動のある他の中学校に就学することができると聞いたので、大和市もいじめなど配慮すべき事情がある場合は、指定された学校とは別の学校に就学できるようにして欲しい。
- ・ 先生のいじめに対する講習などを行って欲しい。

【市長】

- ・ ご意見について、教育委員会に状況を確認し対応が必要な場合はしっかりとやっていく。
- ・ 部活動に関しては、スポーツの技術的な部分だけでなく、生活指導の側面もあるので、将来的な地域移行も踏まえて、市全体で自由に選べるようにしていきたいと考えている。

【意見】

- ・ いじめに関しては、法律の専門家のサポートがあればよいのではないかと考えている。

【市長】

- ・ スクールロイヤーを入れていくことは、これからの時代必要であり、大和市も対応している。
- ・ 先生方が子どもたちと向き合う時間を確保することも重要なので、DXなどにより業務負担を軽減していく。